

2019年度SDGs推進奨励賞 成果報告会

宇都宮大学国際学部 藤井広重研究室
代表：横山友輝・福原玲於茄

藤井広重研究室の活動テーマ

大学生がつなぐSDGsと地域



目次

- 小山城東小学校 サマーフェスティバルへの参加
- 子どもの人権ワークショップの実施
- 大学生によるまちづくり提案コンペティションへの参加
- これからの活動：感染症プロジェクト
- これからの活動：「グローバルウィーク」への参加（9月24日（木））

小山城東小学校サマーフェスティバル

「世界を旅する謎解きゲーム」

- 国際的なクイズを作成、小学生約200人と一緒に解答
- **SDGsを含めて、小学生が国際的な問題に目を向けるきっかけに**
- 参加した小学生はもちろん、PTAの方々からも大変な好評をいただくことができた

子どもの人権ワークショップ

目的：

- 宇都宮市内の学生（小・中・高校生）が彼ら／彼女ら自身の「人権」意識に気づき、いじめや体罰の問題性を見直すことを促す。
- 宇都宮市内の学生が、ワークショップを通して「人権」やSDGsを知るきっかけにする。

実施概要：

- 宇都宮市内の小・中学生との交流や勉強会を実施すると同時に、30分程度の、ワークショップを開催
- （SDGsの説明、いじめや体罰を受けたときの対処法に関する寸劇の実施）
- 宇都宮市内の高校生にボランティアとして、ワークショップに参加してもらう
- 体罰をうけたり、いじめに遭遇した際の相談場所を記載したチラシを配布（参考資料①）

実施実績：

- 市内計4か所の施設を訪問。計6人の高校生がボランティアとして参加

宇都宮市

「大学生によるまちづくり提案」コンペ

- 宇都宮市役所で行われたまちづくり提案コンペティションに参加
- 2019年度のテーマは、「SDGsな未来都市 うつのみや」
→SDGゴール16「平和と公正をすべての人に」に着目し、宇都宮市に住む小中学生の人権保護アプローチを提案

提案内容

「子どもの人権ワークショップ」が、SDGsなどに関する専門性を有する「大学」（私たち）とボランティアとして参加する「高校生」、支援を必要とする「コミュニティ」を結び付ける存在となることを発表。（参考資料②）

最優秀賞を受賞

今回得た成果

今回いただいた奨学金を経て、私たち大学生が、
地域でのSDGs浸透のための架け橋になることができた

16 平和と公正を
すべての人に



これからの活動 感染症プロジェクト

「感染症プロジェクト」

- 新型コロナウイルス感染症に際して、世界がどのように過去の感染症に対応してきたかを調査・分析を行う
- これまでに「エボラ出血熱の発生から終息宣言まで——私達の新しい生活様式に向けた過去からの教訓」と題したポスターを作成（参考資料③）
- 現在は、アメリカのWHO脱退騒動に関する研究を進めている

→感染症プロジェクトで得た、知見を「子どもの人権ワークショップ」に利用

これからの活動 「グローバルウィーク」への参加

- 国連が実施する「Global Week to #Act4SDGs」への参加
- 国連やNGOの職員として、国際協力の現場でご活躍されている、日野愛子さん（9月19日実施）、境悠一郎さん、田邊宙大さん（9月24日）による講演会を実施（参考資料④）
- 宇都宮大学学生はもちろん、地域の高校生からの参加も

これからも、私たちがSDGsと地域の架け橋に

今後とも、宇都宮大学はもちろん、地域
に貢献できる団体として、SDGsにま
つわる活動を進めてまいります。

この度は、奨学生に選出いただき
ありがとうございました。